

龍野ロータリークラブ週報

よいことのために手を取り合おう

2025-26 年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

	2025-26 年度	例 会：毎週木曜日 12:30～13:30
	会 長 伊藤充弘	龍野経済交流センター1 階
	幹 事 神名大典	事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1
	公共イメージ・広報委員長 段 克史	龍野商工会議所内
		TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360
		E-mail tatsunorc1@gmail.com

No.10 (3212 号) 2025 年 (令和 7 年) 9 月 18 日 (木) 曇
例会記録

点 鐘 我らの生業
来 客 なし
来訪会員 なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メイクアップ	修正出席率
21	15	2	6	78.95%	4	2	88.88%

会長の時間 ●伊藤会長

ロータリーのビジョン実現に向けて設定されたアクションプランについて今週もお話させていただきます。先週は1番目の「より大きなインパクトをもたらす」についてのお話でした。今週は2番目の「参加者の基盤を広げる」についてのお話になります。

HP 等には「これまで会員がいなかった新しい層の人たちとロータリーの価値観を共有し、仲間を募ってロータリーを体験してもらう方法を生み出しましょう」と書かれていますが、これは会員増強を従来以上に強力に進めることを意味します。

また、続いて「ロータリーがインクルージョンと参加を促しながら、思いやりを持って、変化を生み出すという大きな目標を掲げていることを、身をもって示しましょう。」と書かれています。その主旨は、会員としてお誘いするために、自分たち自身がロータリーの目的やビジョンをしっかりと理解して行動している状態を維持しましょうということだと思います。

これに対するクラブのアクションは、当然のことながら会員増強活動になります。これにつきましては皆さんも十分にご理解いただいておりますので、改めてのお話は割愛いたします。

敢えて申し上げるとすれば、本年度の RI 会長フランチェスコ・アレツツォ氏は「ロータリーの最大の財産は会員」と強調されております。世界中のクラブが抱える最も大きな問題は会員増強ということを確認にされました。

龍野クラブにおきましても会員増強を最大のテーマにしています。先週のガバナー公式訪問で城ガバナーのスピーチでも触れられていましたし、先月の会員増強委員会アワーでも片岡委員長が触れられていましたが、ロータリーには衛星クラブをはじめとして多種多様なクラブがあります。

その中でもこの衛星クラブは8名の会員が発足時に必要なだけで、例会は月に2回以上とされており、特に毎週の例会や昼の例会など出席しにくいために会員になることを諦めたり、体力的な問題などで続けにくく感じて退会されたりした方には受け皿になり得そうです。

先週のガバナーとの懇談会で「これまで辞められた方々に、勇気をもってその理由を聞いてみてください」とガバナーからご指導を頂きました。確かにこれまでは退会された方に対して本当の理由を聞くということをしておりませんでした。お伺いしたとしても、正直にそのままをお話しい



ただけないと考えていたと思います。

そこでガバナーは「勇気をもって」という表現をされました。本当のことを知る、すなわち今の龍野クラブに足りないことや不満に感じることを明確にすることを、これまで避けてきたということはありませんかという厳しいご指摘です。私たちの弱みを明らかにするというのは確かに楽しい話ではありません。しかしながら、それが分

例会プログラム

「新会員スピーチ」 ●藤谷美穂会員



本日、新会員スピーチをさせていただき、姫路信用金庫の藤谷美穂です。8月から入会させていただき、これまで龍野支店の支店長が勤めていた役割を本部の私に代わることになり、まだ数回ですが皆様には温かく迎えていただき、早速 誕生日のお祝いもしていただき、毎回教えていただくことも多く、本当に嬉しく思っています。

自己紹介をさせていただきことになり、結婚するときには持っていきましたが一度も開いていなかった卒業アルバムを引っ張り出して、片付け中に在りがちですが、つい見入ってしまい、懐かしい時間を過ごしました。これといった特別なエピソードはございませんが、しばらくの間お付き合いをよろしく願います。

私は、昭和44年に太子町で生まれました。父が太子町で母は新宮町の生まれです。ですから、今回龍野エリアに来させていただきことになったのも縁あつてのことだと思いました。私は三人兄弟の長女で、一つ下の弟と六つ下の妹がおります。両親とも働いていましたので、祖母と過ごすことが多く、学校から帰ってはよく畑について行っていました。新宮の祖父母は栗を作って出荷していたので、栗のシーズンには栗拾いをし、仕分けを手伝っていました。

生まれた時は、男が多い家系で女の子が生まれ、初孫だったので可愛がってもらったと聞いています。

からなければクラブの魅力や価値を向上させることは難しいのだと思います。

衛星クラブに固執するわけではありませんが、広く地元社会を見渡しますと多くのニーズが存在することが分かります。そのニーズに応えられるような魅力ある龍野クラブを目指せればと願っております。

が、おばあちゃんに連れられて近所の床屋で散髪してもらっていたので、まさしくワカメちゃんカットにされていました。

太子町には、龍田、太田、鵜、石海と4つの小学校区があります。その中で一番小さい龍田小学校が私の母校です。子供が少なく、当時はギリギリ1学年2クラスで、全校で300人ちょっとだったと思いますが、私の学年は一クラスしかありませんでしたので、1年生から6年生までクラス替えもなく、ずっと同じメンバーでした。現在はずっと少なく全校生で98人しかいないようです。私の入学時にはまだ木造の校舎がありました。3年生ぐらいの時に取り壊され新校舎になっていますが、1学期の終わりには油拭きをしていたので、何となく油拭きの匂いを思い出しました。

当時は4つの小学校が太子中学校1校に入学していましたが、ちょうど私が中学に入学する時に東西に分かれることになり、私は太子東中学校の第一回生となりました。何もかも新しく、制服もまだできていなかったのが、太子中学校のセーラー服を着て入学し、太子中学校のカバンを持っていきました。一つ下の子達から、制服も可愛くなり、かばんはリュックで羨ましかったです。校章のデザインも募集があり、先輩と美術の先生の絵を組み合わせたものになりました。

校歌は、皆さんもご存じのあの阿久悠さんが作詞、作曲は川口真さんが作って下さいました。その時はあまり何も思わなかったのですが、いま思い返すと「てのひらの獅子よりも大空の鳥がいい 志す高さほど はばたけよ 若い子よ」から始まる壮大な歌詞でありました。

山の上に校舎があり斜面に植樹をし、通学路は「阿久悠の道」と名付けられました。私は生徒



会副会長をしていたので、石碑と一緒に手入れをする生徒として新聞に掲載されたことを覚えています。また、卒業時にも「逆境を好機に変える天才になれ 軽率に興奮しよう ただし 軽率で終わらない知恵を持とう」とメッセージをいただきました。私もこのように逆境を乗り越え、一つ一つ経験という視野を拡げながら生きていけたらいいと思います。

小学校ではバレーボール、中学、高校の6年間はバスケットボールをして、部活動に励みました。16番が私です。背番号を出席日数順に決めることになり、休まないように行った覚えがあります。学生時代にはサンシャイン青山でアルバイトをしておりまして、その時にテーブルセティングとマナーを習いました。その頃は、芸能人のディナーショーもあり、どんでんといって前の宴会が終わって、次の宴会時間までにセティングしないといけないんですが、とても忙しかったです。結婚式も多く、涙もろいので他人の結婚式でも感動して、涙が出ることもありました。

短大では初等教育学科でしたので、母校の龍田小学校に教育実習に行かせていただき、1年生に授業をさせていただきました。1年生なので正しい書き順が大事で、正しいトメとハネに注意して黒板に書いたのを覚えています。放課後には童心にかえり、生徒達とドッジボールをして楽しかったです。

就職活動では友達が西兵庫信用金庫さんに就職が決まり焦りました。その影響で私も金融機関を選び、縁あって1990年に姫路信用金庫に入庫しました。配属は地図にはないですが、店番5番の本町支店です。今は駐車場となっていますが、姫路信用金庫の本店が昭和47年に、今の十二所前に新築移転した際に、旧本店が本町支店になりました。姫路城の近くにあり、長壁神社からも近く、ゆかた祭りではゆかたを着て業務をする支店でテレビの撮影やインタビューもありました。今は駅前支店が引き継いでゆかたで業務を行っています。

1994年に結婚しまして、翌年の成人式を含めた三連休を利用した職員組合の野沢温泉スキー旅行があり、主人と参加しました。例年道が混んで朝方帰宅することもあったようですが、その年はスムーズに帰ることができたので、スキー板も片づけて就寝することができました。明けの17日

強い揺れで目が覚めました。阪神淡路大震災です。何度も報道された阪神高速の宙ぶらりんのバスは同じ長野から帰ってくるバスで、もし私達が乗ったバスが遅れていたらとゾッとしたことを思い出しました。私にも何かできることはないかと粉ミルクや服を送り、1回だけですが一人でボランティアにも参加しました。今年で震災後30年です。長男が1995年生まれで30歳になりますので、引き継ぐべき記憶として子供達に話しています。

その後、1998年に次男と2001年に三男を授かりました。今は産休明けの時短制度など子育て環境が充実していますが、その頃は1歳になるまで育児休業が取れる制度があったものの、3人ともフル活用はせずに保育園に入れて、長男の時には半年ほどで職場復帰しました。毎日毎日夏休みも、お昼のお弁当と夜ご飯を作って出勤する日々で、特に三男の育休開けは明石支店に配属で、遠かったので朝が本当に大変でした。

今のように残業に厳しい時代ではなく、朝も就業時間より早く出勤するのが当たり前の時代だったので、上二人は6時にランドセルを背負わせて朝ご飯を持たせ、三男は毛布にくるんだまま主人の実家に連れて行き、登校時間まで預かってもらい、自分は電車で飛び乗る毎日を繰り返していました。もう一度やれと言われてもできる気はしませんが、慌ただしい毎日に付き合ってくれた子供たちには感謝です。

子供が小さい頃は、普段にはない経験をさせたと思い、ビーバースカウトからカブスカウトというボーイスカウトの1年生から5年生の部門で活動させて、私も1年間デンリーダーとして参加し、大山登山に5歳の三男も連れていくことになり、途中三男をおんぶしながら登ったこともありました。サッカークラブでは役員が3回もあたり、試合のたびに引率があり、結局土日もゆっくり休めない日々を過ごしました。中学でも引率は続きましたが、三男が陸上を大学生まで続けていたので、大会ごとに地方まで走るのを見に行く、ついでの旅も楽しむことにしました。やっと今は、自分の時間を楽しめています。

好奇心旺盛で、DIYで色んなものを作ってみたり、野菜や花を種から育てたり、旅行に行くのが好きです。旅の目的はご当地グルメを食べること、グルメ番組を観て調べて行きます。お城・神社めぐり、それと体験です。御朱印集め、陶芸やそば打ち、乗馬にセグウェイ、海でサップやカヌーに



も乗ります。この間は、世界陸上の観戦にも行ってきました。元気なうちに、これからも記憶に残る旅をしていきたいと思っています。

仕事面では、平成 24 年に高砂支店で店舗次長という預金役席をさせていただくことになりました。入庫したときから貸付事務と窓口で、預金事務管理の自信がなく、毎日要領や手引きを見て実務と照らし合わせる日々でした。預金内部で起こる様々なことに対し、責任を持って取り組み、日ごろのコミュニケーションと内部の統制を考えて動くようになりました。その頃から金庫では、年金や預かり資産の推進を、女性職員に求められるようになりました。土曜の自主講座もよくあり、講師役で参加させていただきました。得手不得手はありますが、個々の特性を活かし育成することにより、支店全員で協力し目標は必ず達成する意識を持つようになりました。

本店営業部では、お客様からのお問い合わせや、相続など僚店の手続きも多く、いかに待ち時間を抑え、何度も相続人様を動かすことがないように、スムーズに手続きができるかを考えて、準備を行いました。ここでも相続人様の身の上話を聞き、一緒になって涙を流すこともありました。本当に人生様々で、これまでお付き合いいただいたお客様に事務手続きで気分を害されることのないように、気持ちに寄り添った手続きを心掛けました。

高砂支店と野田支店には 2 回赴任しました。二度目の高砂支店の時には、「最初の一步」という新入職員講座があるのですが、2020 年から 2022 年入庫職員の講師をさせていただき、月に一度数人で研修を行いました。実際の対応の場面で少しでも役に立てればという思いで、できる限り実店舗に近い状態を想定して、研修内容を考え、ロールプレイングを行い取り組みました。昨年、私が高砂支店で指導した子が、表彰を受け自分事のように嬉しかったです。

2023 年 4 月には、店舗次長からいきなり手柄支店と野田支店の支店長を仰せつかり、金庫としては 10 年振りの女性支店長をさせていただきました。金庫は支店のグループ化を進めており、この二店舗は駅南支店のグループ店で、リテール店舗となります。ちょうど 3 月に姫路中央市場が白浜に移り、大きく動いた時の支店でした。金庫の期待も大きく、最初は気持ちの整理が大変でしたが、男性支店長とは経験が違い、同じことはできませんが、自分らしい支店にしたいと思いまし

た。二店舗の職員に賛同を得て信用金庫らしい地域に密着した支店で、地域のコミュニティーになれるように、取り組みました。支店が通学路にあるので、小学校の子供にも見学に来てもらいました。これは街が大好き探検隊で、支店に見学に来てくれた時の様子です。登下校時に心豊かになるように、花を植えたり、ウインドウにも子供たちが楽しんでくれるようにコピー用紙を切って装飾をしました。これがその様子です。全員が女性の支店ですので、話がしやすく居心地の良い支店を作り、地域の方がどこに相談したらいいか悩んだときに行きやすい支店を目指してみんなで取り組みました。

そして 2024 年 4 月からは、営業推進部の部長を拝命しました。

営業推進部では、商品起点ではなく、お客様起点で考える人材の育成のため、「ひめしんに聞いてみませんか」という商品の紹介ではないパンフレットを作って全店を回ったり、お客様向けの旅行を企画、開催し 2 回添乗もしました。2 回目は万博旅行で 1 日バス 2 台を 5 日間約 350 名の旅行を企画しました。

どうやってチケットを取り、どうやって行ったらいいのかわからないとおっしゃる高齢の方からの申し込みが多く、本当に大変でしたが、とても喜んでいただくことができました。他の添乗員の職員で最初は興味がなかった子も次第に万博に興味を持ってきて、万博を盛り上げるという面でも少しは寄与できたと思っています。下見と添乗の時にはほとんど見学できませんでしたが、添乗 3 回を含め、8 回万博に行きまして、いい思い出になっています。

今年 7 月から事業支援部に異動となり、2023 年から毎年目まぐるしく環境が変わり、慣れるということがないまま今に至っています。これまで、支店勤務では主に個人のお客様へのご提案や、課題に向き合ってまいりましたが、事業支援部は法人のお客様とお付き合いとなります。今年の 7 月から当庫も全員総合職となりまして、性差なく全業務を経験していくようになりました。今、凝縮して様々な経験をさせていただいていますが、もっと早くから幅広い業務を勉強して経験を積むべきであったと思っています。ですから後輩たちには、何にでも興味を持ち楽しみながら、一つ上のことを学んでもらいたいと伝えています。

事業支援部の業務は幅広く、お客様や地域の課



題をともに考え、他の公的機関とも連携して取り組みを行っています。聞いたことはあっても、実際に自分でしたことはなく初めてのことが多く、まだまだ勉強中ですが、お客様に喜んでいただけるように、そして後進の職員のロールモデルとなれるように頑張りたいと思っています。

そして、私が大切にしていることは、一期一会

です。これまでの人生の中で出会った方、出会いによって経験したこと、かけていただいた言葉、全てが経験となり自分の糧となっていきます。今回、私がロータリーに入会することになり、会員の皆さんと出会い、地域のことはじめ様々なことを教えていただけるこのご縁を大切にしていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いします。